

さくらんぼ

東根市立神町小学校だより

第 9 号

平成30年2月8日

TEL 47-0035

FAX 47-0275

「分かる」ということ

校長 長瀬 広幸

東根市が推進している理数教育の推進事業の一つである「算数・数学チャレンジカップ」が開催され、神町小学校チームが見事に優勝しました。このニュースは、前回もお知らせしましたが、内容について若干説明させていただきます。この大会は、昨年度から始まり、市内各校のチーム戦で行われ、いくつかの算数の難問に挑戦し、チームの全員が答えとその考え方をジャッジの先生に筋道立てて説明することができるかを競い合うというものです。そこには、これまで身に付けた算数の力に加え、仲間とのコミュニケーション能力も求められます。互いの知恵を出し合いながら、よりよいものを生み出していく力は、これからの時代に求められる力です。本校でも「対話と協働」を大切に、授業づくりに取り組んでいることもあり、昨年度に引き続き二連覇できたことをその成果と受け止め、心から喜んでいるところです。「あいさつの神小」「陸上の神小」に加え、「算数の神小」が誕生したと豪語させていただきます。

さて、算数において「分かる」とは、答えとその考え方を説明できるということです。神町小が優勝できたのは、チームのみんなが分かりを共有できたからです。共有する上で見逃してならないのは、「分からない」子ども大事な役割を果たしているという事実です。分かったふりをせず、「分からない」と言えば、仲間がより、分かりやすく砕いて説明しようとしてくれます。誰もが納得できる洗練された論理が生まれるのは、「分からない」に寄り添い大切にしようとする温かい関係性の中で生まれるのです。

それでは、道徳における「分かる」とは、どのようなものなのでしょう。算数における「分かる」は、「頭で分かる・理屈で分かる」ということであり、「理解」という言葉に置き換えられます。しかし、人には、「理屈では分かるのだけれど…」ということもあります。頭では分かるが、心では分かっているのです。心で分かるとは、「共感」であり、感性的な判断です。思いやりや親切は、相手の立場や心を想像できなければ実践にうつされません。頭と心の両方で「分かる」ことが、道徳の学習に求められます。

「分かる」をより質の高いものにしていくときには、共に学ぶ仲間との関係性が大切になります。そこには、みんなで分かりあおうとする心と態度が必要です。同時に、納得の行くまで「分からない」と言える集団としての包容力も大事です。算数でも道徳でも、共感的な人間関係を基盤にして「分かる」を深めていきます。



今年がよい年でありますように 新年の始まりに…

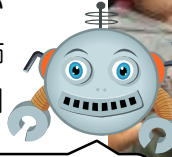


初日の出、初詣…と新年は何でも『初』づくし。神小では始業式の翌日(1/10)に書き初めを行いました。高学年のお手本は「強い決意」。今年、中学生となり新たなステージに立つ彼らにぴったりの言葉です。墨のにおいが漂う体育館で一画一画、集中して筆を走らせる姿は何とも美しい。教室前に掲示した作品を鑑賞するために、多くの保護者の方々が来校されました。ありがとうございました。

きれいなだんご
食べたいな～

団子作るぞ！

まるめた団子をなべに入れてぐつぐつ。みんな興味深そうになべの中をのぞき込んでいます。今年も老人クラブの皆さんのご協力をいただき、1年生が「団子さし」を行いました。1月いっぱい教室に飾った団子木を先日取り外しましたが、固くなった団子は「ドン」にして楽しむ予定です。



調理実習
楽しそう



お魚出前講座

1/23(火)に5・6年生を対象にお魚出前講座を行い、小鯛のつみれ汁を作って試食しました。お魚のおいしさや魅力をより多くの人に知って欲しいというねらいで、市学校給食海産物部会の皆さんが行っている事業です。翌日の新聞には魚をさばいているところをみんなで見ている写真が掲載されました。魚の学習も楽しく行うことができました。

神町の安心 守ります

神町の歴史 伝えます



1/31(水)に『交通指導員・神町パトロールの皆さんへ感謝の会』を行いました。今年は総勢11名の方をお招きし、日頃の感謝の気持ちを伝えました。見守り隊の皆さんは子どもたちからの元気なあいさつが何よりもうれしいとのことでした。

先日、教育基金会副会長の植松俊哉さんから昔の神町を舞台に書かれた児童文学作品を四冊いただきました。作者は俊哉さんのお父さんの植松要作先生です。



本校では、特に高学年で神町の開拓の歴史を詳しく学びますが、これらの本は当時の人々の暮らしを知るうえでとても貴重な資料です。本のタイトルは「ぎざみみのうさぎ」「さくらんぼひとつ」「南十字星の見える島」「野うさぎ村の戦争」です。神小の宝物の一つに加わりました。